

JEC連合では、毎年、経営分析講座を東西に分けて開催しています。内容がハードなことで知られるこの講座、第6回となった今回は、東日本は11月30日から12月1日にかけて東京の「南部労政会館」（参加者72人）と、西日本は12月7日から8日にかけて大阪の「ホテルクライトン江坂」（参加者50人）で、それぞれ開催されました。

講師の岡市敏治さんは、神戸大学を卒業後、神東塗料(株)に入社し、神東塗料労働組合連合会（現在塗料部会加盟）会長、全日本塗料労働組合中央執行副委員長を歴任された私たちの大先輩で、(株)コスモ情報センターを起業して代表取締役役に就任し、中小企業診断士、技術士として活躍されています。また、1986年に神戸大学チベット学術登山隊長として、クーラカンリ峰(7,554m)の初登頂を指揮するなど、バリバリの山男でもあります。

西日本会場の報告をします。講座の第1日目は、労働組合としての決算書の基本的な見方について、



(上) 各自課題にとりくむ (下) 分析結果の発表



2日間で学ぶ 貸借対照表から経営戦略まで

第6回経営分析講座を 東西で開催



参加者に個別指導をする岡市氏

自社の財務諸表分析についての学習でした。

講義はまず家計のバランスシートを参考に、貸借対照表や損益計算書の仕組みを図形を使っての説明から始まりました。複式簿記は火薬・羅針盤・紙に匹敵する歴史的な「発明」であったことなどもまじえての講義でした。演習1では、翌日の準備として自社の財務諸表を分析用のワークシートに転記する作業を行い一日目を終了しました。

2日目ワークシートをもとに良い会社と悪い会社が実例を挙げて紹介され、自社の財務諸表分析と問題点・改善策をワークシートで作成、結果を永和化成工業、日本新薬、セントラル硝子、関西ペイントの4組合が発表しました。つぎはいよいよ核心に迫った「経営改善のポイント」。経営戦略の作り方についての講義。講座の最後を締めくくる演習3は、自社の経営改善案を模造紙にまとめた発表です。最後まで講座に参加した24組合の「改善案」が、掲示され、講師が1社ずつ講評を加えていきます。模造紙に書かれたそれぞれの「改善案」は、持ち帰って活用してもらうことにしました。

この経営分析講座は、単に決算書を学習するだけではなく、自社の財務諸表を使って実際に分析から改善案まで進みますので、中味の濃い研修です。参加した皆さんからは、「大変でしたがすごく勉強になりました」「担当部署の違うものにとっては高度な講座と感じた。もう少し時間がほしい」「図などを作成したりチャートにすると分かりやすく、概略を理解するには重要な作業」などの意見が寄せられました。

来年も多くの皆さんの受講を期待しています。参加された皆さん、お疲れさまでした。

第79回メーデー・ポスター図案

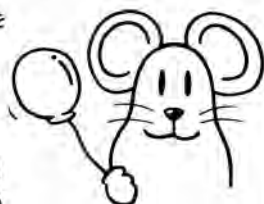
募集

第79回メーデーのポスター図案を右の方法で募集します。

<入選>

最優秀賞1点(20万円)
優秀賞3点(各10万円)

◎応募作品は返却しません。著作権はメーデー実行委員会の所有となります。



応募方法

- ①対象 連合組合員とその家族
- ②図案 “格差是正、元氣、連帯”をイメージするもの
- ③用紙 B4サイズ・タテ、カラー・1人1点
- ④締め切り 2008年1月31日(木) 必着
- ⑤記載事項 用紙の裏側に氏名、自宅住所・電話番号、所属労働組合・電話番号、上部団体名、地方連合会名を記入のこと。記載事項もれは不可。
- ⑥送付方法 郵送または宅配便
- ⑦送り先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
連合連帯活動局気付
第79回メーデー中央実行委員会
TEL 03-5295-0513 rentai@sv.rengo-net.or.jp